

2/16 関西国鉄集会報告

闘う労働組合を復権して社会の現状を変えよう！

国鉄闘争全国運動・関

西が全国的取組みの一環として、解雇の日である二月十六日(金)午後六時半から浪速区民センターホールで二・一六関西国鉄集会が開催されました。

「国鉄一〇四七名解雇撤回・JR採用へ！」「戦争・改憲、労働法制解体阻止！」と大きく訴えが書かれた横断幕を掲げて、八尾北医療センター労働組合のN副委員長の司会により進行されました。

基調報告は動労西日本・

近畿支部のH支部長です。

国鉄一〇四七名解雇撤回の旗を今一度高く掲げよう、国鉄闘争は新たな段階にすすみ「JR労働委員会闘争開始を決定」と報告されました。

二〇一五年六月、最高裁判所は国鉄労働者一〇四七名の不当解雇をめぐる動労千葉の裁判において、不採用基準の策定自体が不当労働行為だったことを明確にしました。さらに不採用基準作成を命じたのがJR設立委員長の斉藤英四郎であるこ

と明らかにになりました。

国鉄分割・民営化による不当解雇にJRが直接関係したことが完全に暴き出されたのです。

動労千葉は直ちにJR東日本に団体交渉を要求しました。しかし、JR東日本は「関知しない」として団体交渉の開催や労働委員会の斡旋も拒否しています。動労千葉は、

団交再開・解雇撤回を求める労働委員会闘争を準備しています。

今こそ、国鉄全国運動・関西が前面に立ち、支援

の闘いに立とう、と締めくくられました。

そして、決意表明が各労働団体からありました。

大阪市職のAさんから大阪下水道が民営化され、続けて今年四月には大阪地下鉄・バスが民営化され、地下鉄の給料は据え置きにするが、バスは約十五万の給料にして



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

差別化をして分断を図るといふ卑劣な行為に現場の誇りと団結を掛けて闘おうと発言されました。

「動労西日本春闘ストへの決意」が動労西日本の東さんが述べられ、三月一日の福知山での要員不足に対するスト、三月中旬の山陰での無賃労働に対するストがあり、これらのストライキを貫徹し粉碎していくと力強く言われました。

奈良市立学校教職員組合（日教組奈良市）のA副委員長からは合理化を許すと二〇名ほどの解雇に繋がることに對して現場からの闘い（ピラマキ等）があり、それに応え

て執行委員会でも議論しているとのことでした。

関西合同労働組合のK委員長・N泉州支部書記長からは五月の泉佐野市議選を闘っていくと述べられました。

我が港合同から中村委員長が「前大阪市長の橋下に対する闘いを続けてようやく弁護士会も動き出したと報告。大阪市の労組壊滅を企図した資本・権力の攻撃に對して、裁判闘争等の様々な方法を駆使して集中反撃をして解決の場につかせました。闘う組織を守り抜いてますます地域に根差した労働運動へと前進していま

す。そして維新の会による公務員労働者に対する団結破壊・組合つぶしとの闘いの前進です。官民労働者の分断を煽り、総じてすべての労働者に保障された崇高な権利である団結権を亡きものにしていいます。港合同は困難を乗り越えて立ち上がった労働者に惜しみない連帯を表明し、象徴的な組合つぶし・団結破壊の攻撃に断固として闘っていく決意です。『どんなに強そうに見える敵であっても弱点のない敵はない』『如何なる困難の中でも執念をもって闘えば活路は開かれる』との確信をもって闘い抜

いてきました。

今日の労働運動の現状を見る時、職場に闘いの旗は見えず、権利意識は後退し、団結が奪われています。労働組合が今こそ団結と闘う力を取り戻す時です。本集会を一貫して取り組み呼びかけてきたのは、闘う労働組合を復権して社会の現状を



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



変えたいという思いからでした。新たな闘う労働組合の全国的なうねりから線、線から面へと発展させていくために、より一層団結を固めてご奮闘いただきたい」と言われました。

本集会の参加者が百五十名であると報告を受け、特別決議となりました。

組織破壊攻撃と闘う全日建連帯労組関西地区生コン支部への激励・連帯として、「関生支部のゼネストを断固支持し、大阪広域協組・警察権力・在特会による関生支部攻撃を弾劾し、共に闘い勝利を勝ちとる決議案」を採択しました。そして団結ガンバロー三唱で集会は終わりました。

参加された組合員の皆さん大変ご苦労さまでした。我々も一八春闘に向けた闘いに突入していきます。港合同の地域統一闘争を官民連帯・地域共闘で頑張っていきましょう。

昌一金属支部 N

さよなら原発 闘争

—— 原発協をやめて！ 核燃料サイクル廃止！

工場おおぞか 大ホール

本公演 18:00開演 19:30閉演

主演 「福島の祈り」 神田香織

共演 「原発・核燃の連続」 新沼謙一 (お笑い)

中絶 50,000円 (前座あり) 観客参加型演出

年賀企画・玄田野島誠「さよなら原発のちから守るために」

10:15開演 18:00開演 19:30閉演

10:15開演「さよなら原発」20年目の今を生きる」

観客参加型 観客参加型 観客参加型

前座	500円
前座	1,000円
前座	2,000円
前座	3,000円
前座	4,000円
前座	5,000円

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！